

8月31日に教職員で不審者が学校に侵入してきた際の対応研修を実施しました。講師は垂水警察生活安全課の警察官お



ふたりです。授業中の侵入を想定し、犯人役の警察官が保健室側の階段を駆け上り、2階、3階と上がっていき、犯行を重ね、再び1階に降りてきてという状況でした。助けを呼びに行く時間もなく・・・という状況に実際の安全面の確保について考えさせられ、さらに刺股(さすまた)が一人では全く役に立たないことが判明。根本的な見直しを求められる結果となりました。その後、柔道場で刺股の使い方や実際の場面でやらなければならないことをご指導いただきました。まずは侵入させないことが一番ですが、侵入された場合は生徒を遠ざけること、助けを呼ぶこと、警察に連絡することを基本とし、狂気である学校侵入者には一人では立ち向かえないので複数名であること、



刺股は武器として使用すること(押さえる目的で行くと逆に攻撃される)、侵入者を倒すには一人は前から胸を、一人は後ろから足を刺股で狙って行くことなどを実演しながら教えていただきました。その後、男性・女性に分かれて、男性は刺股を実際に使い、女性は簡単な護身術を教えていただきました。危機管理の初期対応を考え直し、緊張感を持っての対応を考えるきっかけになりました。男性の警察官であっても女性が刃物を持って襲ってきたらなかなか一人では押さえられないそうで、不審者対応における私たちの認識を深めることができた研修となりました。垂水警察のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



9月1日始業式が行われました。私からは、夏季休業前に話した「姿勢と歩き方のチェックについて」と今学期の学校行事(体育祭と50周年

記念式典)への協力依頼と各学年の取組について(3年は進路実現へのチャレンジ、2年は修学旅行の成功、1年は文理選択)を話しました。最後に、夏の甲子園で優勝した慶応高校が掲げた「エンジョイ・ベースボール」についての考え方を伝えました。野球を心から楽しむために自らのレベルを上げ、高みを目指して高いレベルでの試合をすることが目標となります。個人のレベルを上げるにはその個人の課題を周りが共有し、一緒に練習をする必要があります、それを一人一人に当てはめると自分一人では「エンジョイ・ベースボール」はできないこととなります。お互いを理解し合い、さらなる高みを目指すことで本気で楽しむことができるということが「エンジョイ」には含まれているということから、勉強でも部活動でも趣味であっても本気で取り組めるもの「エンジョイ・○○」を見つけて取り組んで欲しいという話で締めくくりました。うまく伝われば良いのですが・・・。自らの可能性を広げていく上でも生徒の皆さんの本気の取組に期待したいと思います。

その後は遅ればせながら生徒会認証式を行いました。東本妃世生徒会長の力強い「生活しやすい舞子高校づくり」宣言がありました。そして情報処理技能検定合格者の紹介と夏季休業中の表彰伝達をしました。情報処理技能検定では準1級3名、2級5名、準2級2名を紹介しました。表彰伝達は、兵庫県高等学校家庭クラブ研究発表大会研究計画賞、兵庫県高校サマートーナメント男子シングルス準優勝の宮田選手、兵庫県高校ユース陸上神戸地区予選会2年男子やり投3位の福本選手、1年男子400m3位の北野選手、兵庫県民体育大会ウエイティング部男子81kg級3位の馬部選手、女子64kg級4位の朝藤選手、神戸市高校女子ソフトボール秋季錬成大会準優勝(合同チーム)の主将堤選手、兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会金賞、兵庫県大会銀賞の吹奏楽部をそれぞれ表彰しました。おめでとうございます。

式後には服装点検を行い、気持ちよく2学期が始まりました。感染症対策はもちろん、暑さ対策も取りながら9月10月と充実の秋を迎えられるよう頑張っていきたいと思います。